学校番号	３０４

令和８年度　国際文化科

教科	国際文化	科目	情報科学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新情報Ⅰ　新訂版　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

知識基盤社会において、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用し、情報を収集、整理・分析、発信することを通して、様々な問題について考え、社会に積極的に参画する態度を身につける。
また、データ分析やプログラミングなどに基礎的な内容についても学習する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身に付けているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	情報社会と問題解決	情報と社会の発展 情報技術が築く新しい社会 情報の特性 情報のモラルと個人に及ぼす影響 知的財産 情報の利用と公開 個人情報の保護と管理	a: ・データ，情報，知識の意味と相互の関係について説明することができる。 ・情報の残存性，複製性，伝播性など，情報の特性について理解している。 b: ・情報技術でどのように社会が進展してきたか，今後，どのような社会を目指しているか，事例を示して説明することができる。 ・SNS の活用など，不特定多数を対象としたコミュニケーションを行う際の注意点をあげることができる。 c: ・情報や情報技術が社会に果たす役割やこれからの情報社会についてインターネットなどで調べようとしている。 ・ネット依存など，情報化が健康に及ぼす影響について考え，自らの情報活用について振り返り，改善しようとしている。	定期考査 ワークシートや成果物	定期考査 ワークシートや成果物	ワークシートや成果物

	情報のデジタル化とコンピュータ	デジタルと情報量 数値と文字の表現 音の表現 静止画と動画の表現 データ量とデータの圧縮 ハードウェアとソフトウェア 数値の計算 演算の仕組み	a: ・2 進数・10 進数・16 進数を相互に変換することができる。 ・数値・文字の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。 ・音声の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。 ・音声のデータ量を計算できる。 ・論理回路(AND, OR, NOT)による演算の仕組みについて説明することができる。 ・補数について理解し，補数を使った減算について理解している。 b: ・2 進数と情報量の関係について説明することができる。 ・情報量を適切な単位で表現したり変換したりできる。 ・画像の情報を目的に応じて適切にデジタルで表現できる。 c: ・数値・文字・音声・画像などのデジタル化の仕組みに関心を示し、これらのデジタル化された情報を主体的かつ適切に取り扱おうとしている。	定期考査 ワークシートや成果物	定期考査 ワークシート や成果物	ワークシートや成果物

2	データの活用とシミュレーション	データの収集と整理 データ分析と表計算 データの可視化 データ分析の手法 モデルとモデル化 シミュレーション	a: ・グラフの種類や機能を理解し，表計算ソフトウェアを用いてデータをグラフ化することができる。 ・クロス集計，相関係数を用いた分析，単回帰分析を行うことができる。 b: ・問題解決の目的や条件に従って表計算ソフトウェアの関数を適切に使用し，データ処理を行うことができる。 ・問題解決の目的に応じてグラフの種類を選択し，データを適切に可視化することができる。 c: ・問題の発見や解決のために，オープンデータの選択やサンプリングなど，データを主体的に収集しようとする。 ・問題解決のためのデータ分析を，試行錯誤しながら粘り強く行うことができる。	定期考査 ワークシートや成果物	定期考査 ワークシート や成果物	ワークシートや成果物

	情報通信ネットワークとセキュリティ	ネットワークの構成 情報通信の取り決め インターネットの仕組み Web ページとメールの仕組み 転送速度と誤り検出 情報セキュリティの脅威と対策 安全のための情報技術 社会の中の情報システム 情報システムの活用 データベース	a: ・LAN を構成する機器について，それらの役割を説明することができる。 ・IP アドレスの構成について理解し，コンピュータの IP アドレスを調べることができる。 ・データベースの意味と利用されている事例について説明することができる。 b: ・インターネットにおける情報伝達の仕組みについて，教科書の図で説明することができる。 ・情報セキュリティへの脅威の具体例と，その脅威を引き起こす要因ついてあげることができる。 c: ・実際に利用しているネットワークの構成について自ら調べ，よりよいネットワークへの改善につなげようとしている。 ・自らが管理している情報機器の情報セキュリティに関するリスクを軽減するための方策を考えようとしている。	定期考査 ワークシートや成果物	定期考査 ワークシートや成果物	ワークシートや成果物

	プログラミングの実践	プログラミングの基礎 関数を使用したプログラム 探索と整列のプログラム	a: ・変数を使用して分岐構造や反復構造のプログラムを作成することができる。 b: ・問題解決のアルゴリズムに従って基本制御構造を使用し，適切かつ効率的にプログラムを作成することができる。 c: ・問題解決のためのアルゴリズムを考え，粘り強く試行錯誤しながらプログラムを作成することができる。	定期考査 ワークシートや成果物	定期考査 ワークシート や成果物	ワークシートや成果物
3	コミュニケーションと情報デザイン	社会の中の情報デザイン 情報デザインの工夫 文書の作成 プレゼンテーションの工夫 Web ページ	a: ・情報を公開する目的で，HTML や CSS を使って Web ページを作成することができる。 b: ・レイアウトや段組み，フォントやフォントサイズ，配色を工夫して発表用ポスターを改善することができる。 c: ・プレゼンテーションの実施や Web ページの公開にあたって，情報伝達の目的に適合するコンテンツ制作に努め，試行錯誤しながら個人やグループのコンテンツ制作の技能を高めようとしている。	ワークシートや成果物	ワークシート や成果物	ワークシートや成果物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度